



# 有限会社ジャックスクリーン

## 2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年6月1日～ 2024 年5月31日)



作成日： 2024. 07. 25

更新日：



## 目 次

項 目	ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営理念</li> <li>・ 環境経営理念/環境経営方針</li> </ul>	3
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織の概要</li> <li>・ 認証/登録の対象組織・活動</li> </ul>	4
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営組織図及び役割・責任・権限表</li> </ul>	5
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な環境負荷の実績</li> <li>・ カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み</li> </ul>	6
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営計画の取組結果とその評価 (電力による二酸化炭素削減/自動車燃料による二酸化炭素削減)</li> </ul>	7
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営計画の取組結果とその評価 (一般廃棄物の削減/混合廃棄物の削減)</li> </ul>	8
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営計画の取組結果とその評価 (水道水の削減/溶剤の適正管理/2023年度経営指針書より行動計画項目)</li> </ul>	9
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各事業所の取組紹介</li> </ul>	10. 11. 12
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無</li> <li>・ 緊急事態対応訓練</li> </ul>	13
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代表者による全体の評価と見直し・指示</li> <li>・ 編集後記</li> </ul>	14

- 共に 私達は、サイン事業を通し  
お客様、協力会社と共に、幸福な未来を創造し  
豊かな人生を実現します。
- 創る 私達は、場所を示し、人の集いを創る  
社会資本の一翼を担い、街創り、地域創りに  
貢献します。
- 未来 私達は、常にお客様のニーズを捉え、  
社会環境の変化にも対応する表現力を  
身につけます。

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

私達はサイン事業を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に社員一丸となって継続的に改善活動に取り組みます。  
 永続する社会、地域、私達の未来を想像し、「誰一人取り残さない社会」の姿を「示す」ことを目指します。

### <環境保全への行動指針>

- |                                      |   |   |   |
|--------------------------------------|---|---|---|
| 1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。          |  |  |  |
| 2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。 |  |  |   |
| 3. 廃棄物の発生抑制につとめ、再資源化に努めます。           |  |  |   |
| 4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。             |  |   |   |
| 5. 塗料や接着剤など適正管理に努めます。                |  |  |   |
| 6. 年度経営指針書の行動計画実行により企業価値向上をめざします。    |  |  |  |
| 7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。           |  |  |  |



制定日：2021年10月1日

改定日：2023年7月25日

代表取締役社長 **今岡和雄**

- (1) 名称及び代表者名  
 有限会社ジャックスクリーン  
 代表取締役 今岡 和雄
  - (2) 所在地  
 本 社 大阪府八尾市跡部本町1丁目4-40  
 東京営業所 東京都品川区南大井6丁目3-18
  - (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
 責任者 施工管理部 多田 祐一 TEL：072-999-5301  
 担当者 総務部 坂本 紀子
  - (4) 事業内容  
 屋外広告の企画・設計・制作・施工
  - (5) 事業の規模  
 売上高 281 百万円 (2023年度実績)
- |       | 224            | 本 社                | 東京営業所             | 合計                 |
|-------|----------------|--------------------|-------------------|--------------------|
| 従業員   | 名              | 13 名               | 1 名               | 14 名               |
| 延べ床面積 | m <sup>2</sup> | 396 m <sup>2</sup> | 62 m <sup>2</sup> | 458 m <sup>2</sup> |
- (6) 事業年度 6 月 1 日 ~ 5 月 31 日

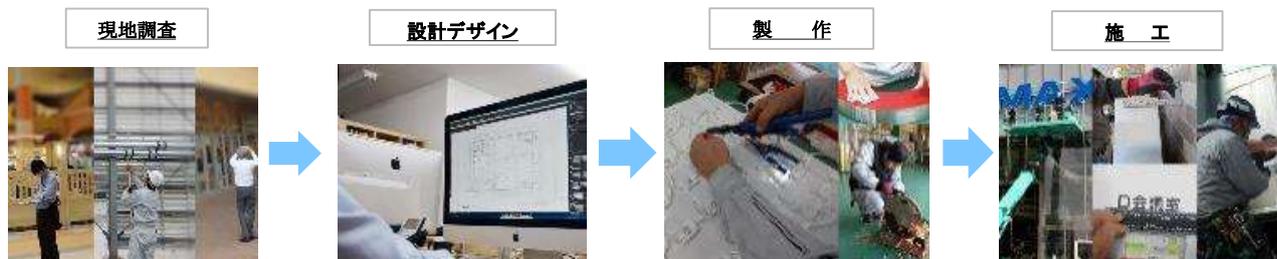
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 有限会社ジャックスクリーン  
 対象事業所： 本 社  
 東京営業所  
 対象外： なし  
 活動： 屋外広告の企画・設計・制作・施工

□事業紹介

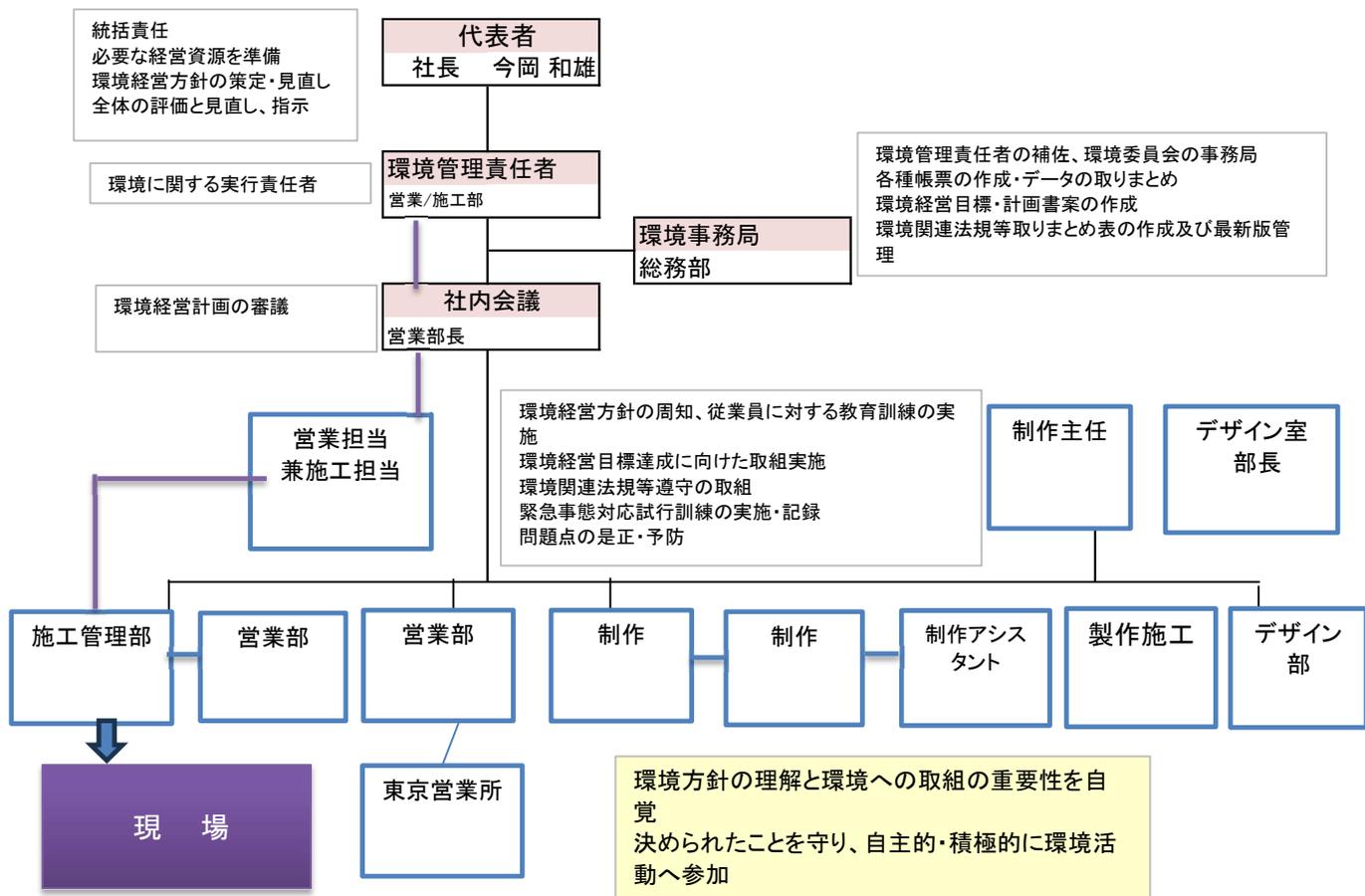
(私たちの仕事)

屋外、屋内のあらゆる看板・サインを、設計から制作、施工までトータルで行っています。平付サイン、シート切り文字サイン、アクリリ切り文字サイン、カルブ文字、点字サイン等、自社内で制作し安心、安全かつ迅速な対応を心が



## □環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2023年6月1日



## □主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	41,156	44,082	44,006
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	1,222	731	932
産業廃棄物排出量	kg	7,622	6,432	6,340
総排水量	m <sup>3</sup>	110	108	124

※二酸化炭素排出係数 0.468 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 電力会社の調整後の係数(R3年度値)  
 ※負荷の実績は工事現場を含む

## □環境経営目標及びその実績

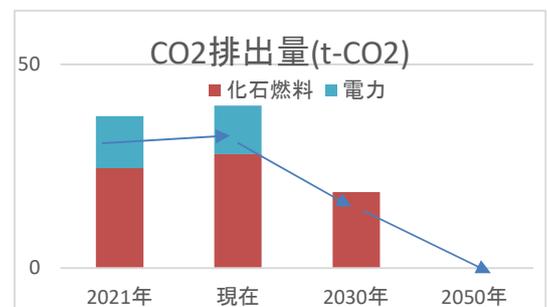
項目	年度	単位	2021年		2023年		評価	2024年	2025年
			(基準値)	(実績)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	原単位	12,758	12,503	12,503	11,941	○	12,503	12,247
			基準年度比	2021年	98%	94%		98%	96%
	kg-CO <sub>2</sub> /千円	0.056	0.055	0.048	○	0.055	0.054		
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	原単位	24,482	24,482	24,482	27,953	×	24,237	23,992
			基準年度比	2021年	100%	114%		99%	98%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>		37,239	36,984	36,984	39,894	×	36,739	36,239
一般廃棄物の削減	kg	原単位	1,222	733	733	932	×	733	733
			基準年度比	2021年	60%	76%		60%	60%
産業廃棄物(混合・廃プラ)の削減	kg	原単位	6,270	6,082	6,082	5,920	○	6,019	5,957
			基準年度比	2022年	97%	94%		96%	95%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	原単位	111	111	111	124	×	111	111
			基準年度比	2021年	100%	112%		100%	100%
溶剤の適正管理			行動目標(次項による)						
2023年度経営指針書行動計画項目			行動目標(次項による)						

※産業廃棄物は通常排出される混合廃棄物と廃プラを削減目標としている。  
 ※都市ガス、灯油について削減目標としていません。

## カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み

単位：t-CO<sub>2</sub>

	Scope1 化石燃料	Scope2 電力	対策
2021年	24.5	12.8	カーボンニュートラルへの基準とします。
現在	28.0	11.9	省エネ+ハイブリッド車
2030年	18.65	0	省エネ+ハイブリッド車+再エネ電力
2050年	0	0	省エネ+電気自動車+再エネ電力

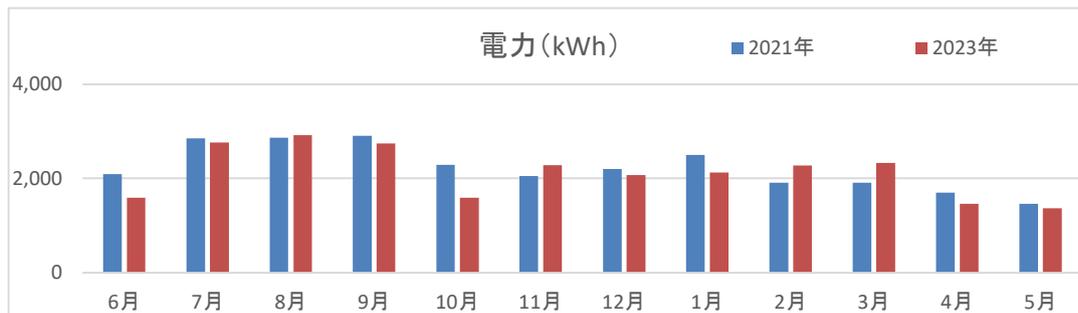


## □環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

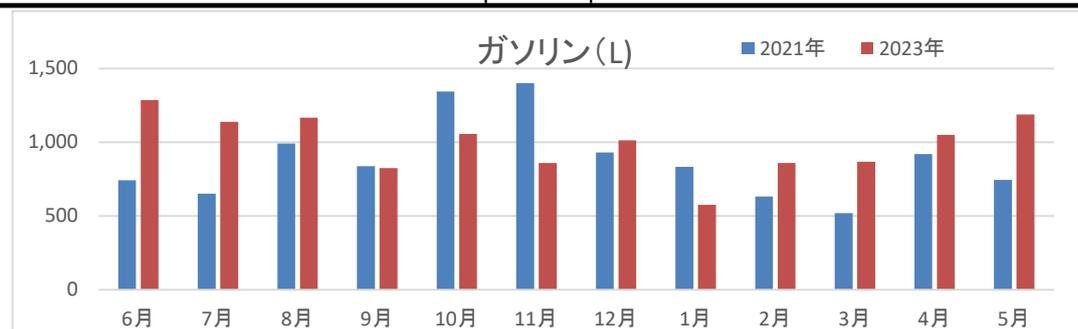
活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標基準年度比98%の設定で今期1年活動していたが、最終的には94%の達成となり、目標よりも4%多く削減出来た。それは、やはり全員の意識をつけるべく、担当が朝礼などで声を上げてくれた事や、各自が気付いて不要な電気を消してくれているといった日々の行動がこの結果に繋がったと感じる。しかし、まだ100%定着ではないので、引き続きお互いの声かけや気付いた人は率先して消灯し、みんなが言い合える環境を維持していきたい。今期後半は社内会議で「製作効率」や「仕組み」についても話し合わせ、営業・製作担当者・製作リーダー間でのミーティングの強化と意識づけも課題に上がり、今後はこの取り組みの中でも「製作ミス削減」や「製作時間短縮」といったことでも電力削減効果を感じられるように進めていきたい。来期は基準年度を2022年度に変更し、そこから98%達成を目指します。
原単位目標	○	
・空調機フィルター定期清掃	△	
・設備の定期点検(1Fレーザー機に関してはチェックシート作る)	△	
・不要照明の消灯	△	



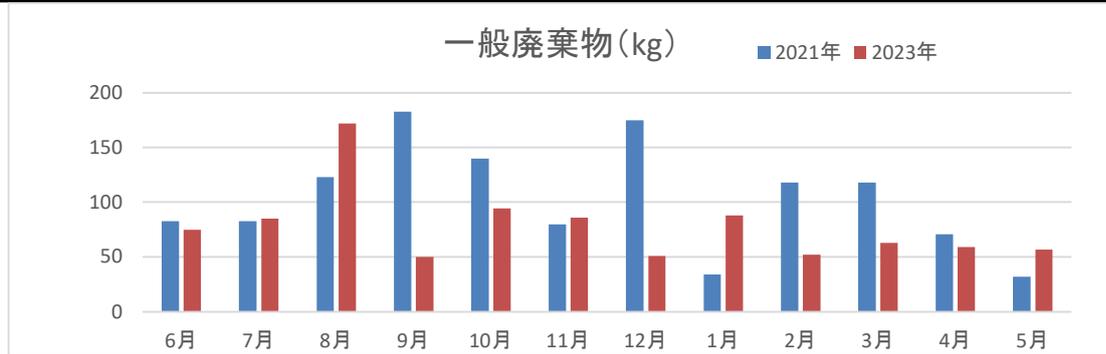
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	2,095	2,854	2,866	2,912	2,295	2,054	2,200	2,502	1,908	1,908	1,699	1,466
2023年	1,589	2,767	2,924	2,743	1,587	2,279	2,072	2,126	2,273	2,330	1,460	1,364

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	今年はかなり繁忙期があり、その分車移動も多かったこともあり、今年度も削減につなげることが出来なかった。各車両の走行距離も調べて燃費について評価する予定だったが、その取り組みについては一切進めることが出来なかったため、今後は公共交通機関推奨の維持と共に燃費についても取り組んでいけるようにしたい。来期は基準年度を2022年度に変更し、その数値に留まるよう100%達成を目指します。
・現場へ向かう際の省エネ運転推進	△	
・打ち合わせはなるべく公共交通機関を推奨	△	
・同じ現場には車1台でいくことを心がける	△	
・車両定期点検(タイヤ空気圧含む)	○	
・現場へ出戻りのないようにな準備、製作を心が	△	



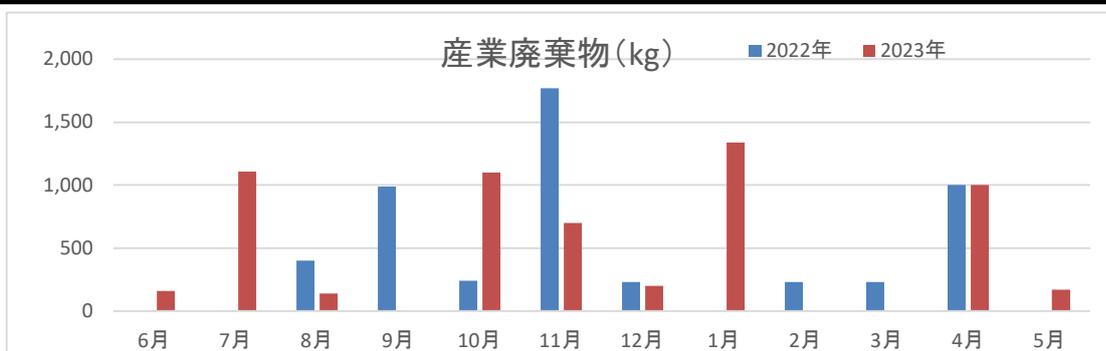
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	743	653	992	838	1,344	1,400	931	834	633	521	919	746
2023年	1,286	1,138	1,168	825	1,058	858	1,012	575	858	869	1,050	1,189

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	もともと厳しい目標設定で今期取組んだので60%の達成は叶わなかったが、コピー用紙の使用は全員がかなり再利用(裏紙利用)を実行してくれており、それが新入社員へもしっかり伝わっているので良い傾向だと感じる。紙ゴミの回収BOXもしっかり利用されているのでこの流れを来期へも繋げるとともに、また新たな取組みも検討していきたい。来期は基準年度を2022年度に変更し、99%達成を目指します。
・マイ箸、マイカップ推奨を引き続き取り組む	○	
・使用済の裏紙使用(カレンダーなども)	△	
・電子データ、メールの積極的活用	△	
・帳票見直しで印刷物削減(部数最小限)	△	
・封筒の再利用(現場へもって行く品物入れに転用など)	△	



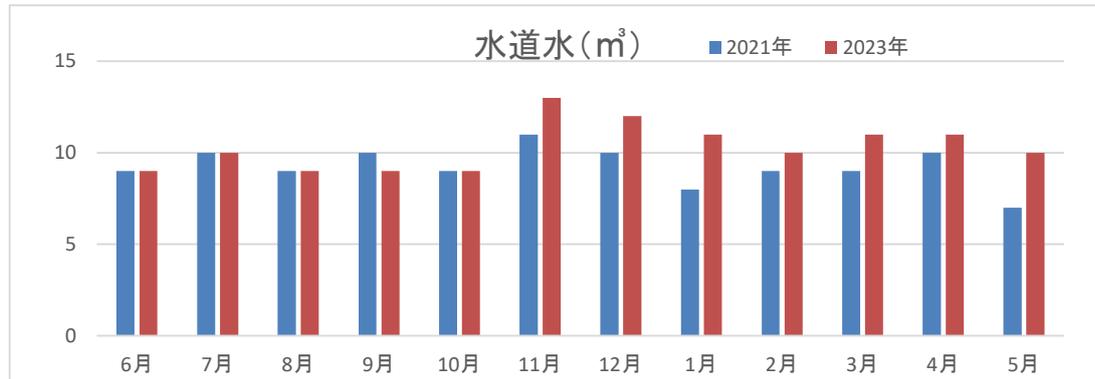
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	83	83	123	183	140	80	175	34	118	118	71	32
2023年	75	85	172	50	94	86	51	88	52	63	59	57

産業廃棄物(混合・廃プラ)の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	1月の時点では基準年に対して131%と大きく超えていたが、それ以降の削減効果で最終的には97%達成目標に対して94%で終わることが出来た。その要因はリサイクル出来る仕組みづくりでゴミを資源に変えるという社会貢献への第一歩に繋がったという点、端材を使ったワークショップの開催といった前回とは違う取り組みを実施した結果も反映されていると思う。今後は日々の作業性の中でもゴミ削減に繋がるように取り組んでいきたい。来期も今期達成した94%目標ですすめていく。
・分別BOX(電池回収BOX設置済)100%活用	○	
・施工時、作業時の廃棄物抑制に努める	○	
・リサイクル業者選定(塩ビシートのゴミ削減)	△	
・社内部材の在庫の適正見直しによる無駄な廃棄削減	×	
・端材の利用で余計な購入を削減	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2022年	0	0	400	990	240	1,770	230	0	230	230	1,000	0
2023年	160	1,110	140	0	1,100	700	200	1,340	0	0	1,000	170

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	大きな取り組みはしていないが、目標維持が出来なかったのだから日々の節水を心がけていきたい
・節水呼びかけを表示	○	
・手洗いやトイレでの流し方に節水を心がけ意識する	○	
・1F洗面台の蛇口をシャワーに切り替えて使用の徹底	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	9	10	9	10	9	11	10	8	9	9	10	7
2023年	9	10	9	9	9	13	12	11	10	11	11	10

溶剤の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・作業ミスによる使用量増加の抑制	×	上半期振り返り時に言っていたことが結局出来ずに終わってしまった。来期は担当がもっと声を上げて、処分スケジュールを立て、全員で取り組んでいく。
・発注量の適正化（無駄な購入を防ぐ）	×	
・MSDS入手で適正な使い方を徹底	△	
・使用する化学物質は環境にやさしい製品を促進する	×	



2023年度経営指針書 行動計画項目	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・見えるエコ活動と振舞向上の推進	○	それぞれの分担でスケジュール通り進められているが、資材置き場の使い方や部材の整理、適正管理といったところまでは浸透していないので、後半は日々の朝礼などでも声かけをしていく。新分野チャレンジに関しては仕事が忙しくなると時間をつくって活動することが難しく、どう時間をつくって進めるか課題である。
1、部材在庫の見える化で部材購入費を削減		
2、資材置き場の見える化で、資材再利用		
3、端材有効活用（ワークショップに参加）	○	
新分野にチャレンジ（内製化の強化）	△	エコ活動の取り組みに関しては、計画通り全て達成出来た。特に部材整理と購入前の声掛け意識で年間の部材購入費が大幅に削減出来たことは大きな成果だと感じる。「ドローン」「映像」に関しては、やはり日々の業務の中での時間の作り方がうまくいかず、成果として大きなものはなかった。ドローンは免許取得までは実行出来たので来期からに期待したい。これらの行動計画の取り組みは来期も引き続き実施していく。
1、ドローン事業化にむけて土台づくり		
2、映像コンテンツ制作	△	

地域や関係団体の環境活動に積極的に参加	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・エコキャップ推進協会へのキャップ送付	○	エコキャップは少しずつ地域の方々へ認知して頂き、協力を得ている。ワークショップを通して、もっと活動を知ってもらえるようにしたい。
・ワークショップへ出展し端材活用で子供たちを楽しんでも	○	

## 見えるエコ活！



再利用出来る段ボールが保管出来るように  
「リサイクル段ボール置き場」を社内端材で製作し  
設置、表示をして活用。



物置になってしまっていた棚も、上段に  
梱包資材分別 BOX を作って設置し、  
発送時はここから使うようにした。

スペースの有効活用／資材の再利用  
「使えば資源、捨てればゴミ」

部材在庫の整理と、購入時の周囲へ  
の声かけにより、「在庫があるのに  
買ってしまった」を無くし、経費削減の  
意識も付いてきました。  
その結果、部材経費が前年度より約  
18万円削減出来ました！



部材は見えるように収納。  
特にネジ類は種類別で整理し、在庫が見えるように  
した。



現場準備前にしっかり確認し、  
「あるのにまた購入してしまった」  
という無駄購入がないように徹底していく！

無駄購入と経費とを削減

	部材経費		
	2022年度	2023年度	
6月	49,635	7,680	-41,955
7月	31,243	17,729	-13,514
8月	63,441	19,091	-44,350
9月	67,424	55,091	-12,333
10月	77,530	80,000	2,470
11月	87,493	24,073	-63,420
12月	7,123	48,023	40,900
1月	45,854	17,453	-28,401
2月	95,113	24,751	-70,362
3月	18,617	25,004	6,387
4月	55,697	63,893	8,196
5月	13,788	44,821	31,033
	612,958	427,609	-185,349
			単位：円

## 魅せる振舞い！！



毎月推進者を決め、振舞い目標をたてて  
 掲示。  
 「少しの気配り」「相手への配慮」を見える化

**JAC** 7月の振舞い目標 推進:多田

～っばなし、を無くす。  
 (出しっばなし・やりっばなし・言いっばなし…)

**SDGs**

**JAC** 8月の振舞い目標 推進:辻本

毎日ひと拾い  
 (美しく、気持ちの良い職場に。)

**SDGs**

## 端材有効活用で ワークショップへ参加！



職場で使わなくなったカッティングシートや端材で  
 何か出来ないか。みんなで意見を出し合っ  
 て、  
 ワークショップに来た方が楽しみながらジャックスクリーン  
 を知ってもらう事を目指す。

アクリル板端材で蓋を作成



使わないシートで  
 着せ替えシール

ゴミになる紙の筒

端材でオリジナル貯金



前回から活動しているエコキャップ  
 回収もたくさんのご協力を得られ  
 ました！！



キャップの回収に、  
 ご協力ください。



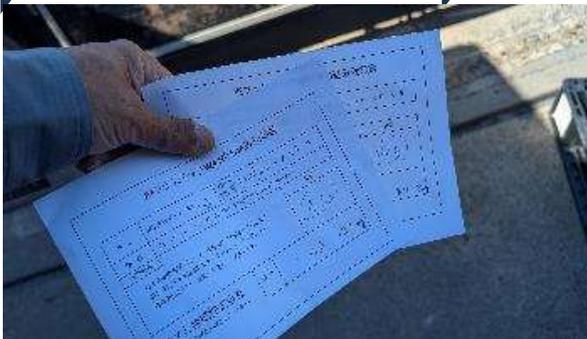
エコキャップ発送個数	
2023.7月	860
2023.9月	1290
2023.11月	430
2023.12月	1290
2024.1月	1505
2024.3月	1290
2024.4月	1720
2024.5月	1290
2024.6月	2580
<b>キャップ合計</b>	<b>12255</b>
<b>CO2発生抑制</b>	<b>89.78kg</b>

# ゴミを減らす仕組みづくり

アクリル端材を種類別でしっかり分別し、その一部を業者へ持ち込みしてリサイクルプラスチック原料になる仕組みを確立



社内でアクリルを種類別にし業者へ持ち込み



業者受領



廃材を粉碎



機械で溶かして押し出し



ペレット(粒状)になる



リサイクルプラスチック材料となり別の製品になる

## □環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制等は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
騒音規制法	空気圧縮機
労働安全衛生法	SDS評価（ボンド、シリコン、塗料、シンナー）
消防法（危険物）	危険物の少量以下での保管
フロン排出抑制法	業務用空調機
顧客要求事項	環境管理（騒音軽減）、安全管理（歩行者、車両）、有資格者の常駐

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

## □外部から苦情等

取り組み対象期間での苦情等はありませんでした。

## □緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024年6月3日	■実施場所 本社
■参加者： 全社員	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、 <b>避難訓練</b>
■評価： B 避難完了時間 1分37秒	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
<p>■実施状況の様子</p> <p>会議中に火災が発生したと想定し、一斉に避難を行いました。</p> <p>2Fから1Fへの避難なので、慌てず階段でも押さないように注意を促しマスクをしていない人へは、口を手やハンカチで押さえて避難するように呼びかけました。</p> <p>1F駐車場へ集合し、点呼を行い訓練を完了しました。</p> <p>タイマーもしっかり計り1分37秒で避難しました。次回はこの結果を基準にして、よりスムーズな避難が出来るようにしたいです。</p>	
	

緊急事態の想定：現場でのKY活動	
■実施日： 年度内現場 都度実施	■実施場所 東京/大阪 施工現場
■参加者： 現場担当者/施工関係者様	■実施内容： ・KY（危険余地）事前確認
■評価：	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
<p>■実施状況の様子</p> 	
<p>・どの現場に於いても施工前にしっかり手順を確認しあって事故などを防ぐ。夏場は熱中症対策も十分に行う。</p>	

今期はもう一步、経営とエコアクションをリンクさせる取り組みとして地域のプラスチック材料販売の工場に協力を仰ぎ、アクリル端材のマテリアルリサイクルの推進、梱包材の再利用、端材ワークショップの開催など新たな取り組みを進め、産業廃棄物の削減を実現し、経営効率化と環境負荷の削減に結びつけることができたことは大きな成果であり、社員全員の自信になったと感じます。今までゴミとして廃棄していたものを資源と捉え、分別し再利用していくサイクルを自ら構築することができるという感覚を掴むことができました。また、紙ゴミについても地域のリサイクル回収場へ持ち込むよう、積極的なエコアクション推進で一般ゴミについても削減する動きになっています。

しかしながら自動車使用による化石燃料の削減はなかなか進まず、今後の課題となりました。今年4月には営業車を1台低燃費のハイブリッド車に変更したことや、電車移動の推進を全員で取り組むことにより、成果に結びつけたいと思います。

来期は、引き続きマテリアルリサイクル、ワークショップの開催や新たにメルカリ出品を通じて廃棄物の削減をさらに進め、自動車燃料の環境負荷削減を実現し、経営効率化、カーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。自分達自身がこうした取り組みに貢献し、かつ経営効率化を図る実践者であるという認識が芽生えたことが大きな推進力になり、次年度はより実践的な取り組みに進化し、経済効果も実感できる仕組みの構築を目指したいと考えています。また、次年度は21期にあたり、次の10年に踏み出すタイミングで環境管理責任者の交代や事務局の再編成、基準年度も新たに設定しなおします。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり	2024年度経営指針書による。基準年度変更。
実施体制	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり	管理責任者交代、事務局再編成

## □編集後記

日常の中でエコアクションの取り組みはだいぶ社内に浸透してきたと実感しています。不要な電気がついていたら誰かが消してくれたら、コピー印刷で間違えて無駄印刷をしてしまったら「あ、やってしまった」と声が上がったり！バツカンへゴミを捨てる時は少しでも多く入るように詰めて捨てたり。そういった少しのことでも、出来ていることが当たり前になってきていることが嬉しく思います。今期は産業廃棄物も全てゴミとして処分するのではなく、一部をリサイクル出来る業者様へ引き取って頂く仕組みづくりが出来たので、こういった”目に見える効果”をしっかりと仕組みとして取り込めたことは今期の大きな成果と言えます。その他、わが社の経営指針書の行動計画に基づいた取り組み(見えるエコ活、魅せる振舞い)でもいろいろな成果を出せたと実感しています。ただ、エコアクション活動はまだまだ通常業務とは切り離された位置づけにあるので、今後は通常業務の中で同じ位置づけとして全員で取り組めるように、更にエコアクションチームが先頭に立って推進していきたいです。